

社会学委員会  
災害を克服する地域社会と社会的モニタリング検討分科会  
(第26期・第2回)

議事要旨

1. 会議名 社会学委員会災害を克服する地域社会と社会的モニタリング検討分科会  
(第26期・第2回)
2. 日時 令和6年10月14日(月) 16:30~19:00
3. 形式 オンライン会議
4. 出席者 青柳みどり、浅川達人、池田恵子(幹事)、岩井紀子、梅屋潔、奥村弘、玉野和志、  
中澤秀雄(幹事)、増田聡、町村敬志(副委員長)、山下祐介(委員長)  
オブザーバー:阿部晃成、市村高志、三浦友幸
5. 議題
  - (1) 現場からの報告(能登、福島、宮城)
    - ・阿部晃成氏:豪雨後の能登半島地震被災地の状況と課題について
    - ・市村高志氏:福島県浜通りの現状と復興の制度的課題について
    - ・三浦友幸氏:気仙沼の防潮堤・大谷海岸の整備と合意形成について
  - (2) 今後の進め方について
    - ・論点を整理して議論を継続する。復興行政に中心的に関わった人物を選定し、次回分科会でヒアリングを行う。
    - ・次回の分科会は、12月以降の開催を検討する。
  - (3) その他
    - ・なし